



Innovational faction 新和会

大津市議会 OTSU SHINWA-KAI

議会だより vol. 08 2021.3 令和3年3月31日発行

FAX 077-521-1010

TEL.077-528-2624
〒520-8575 滋賀県大津市御陵町3-1

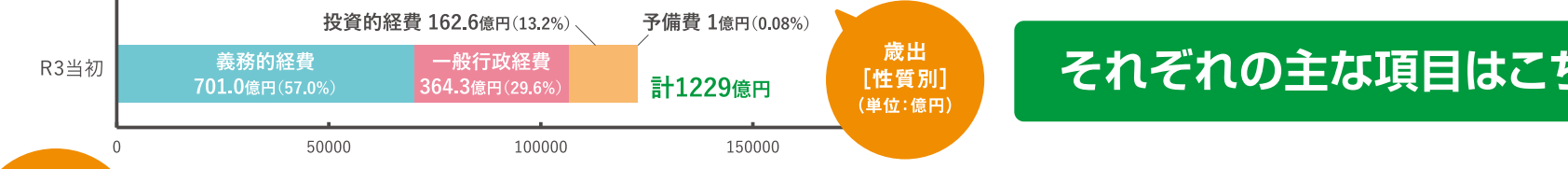
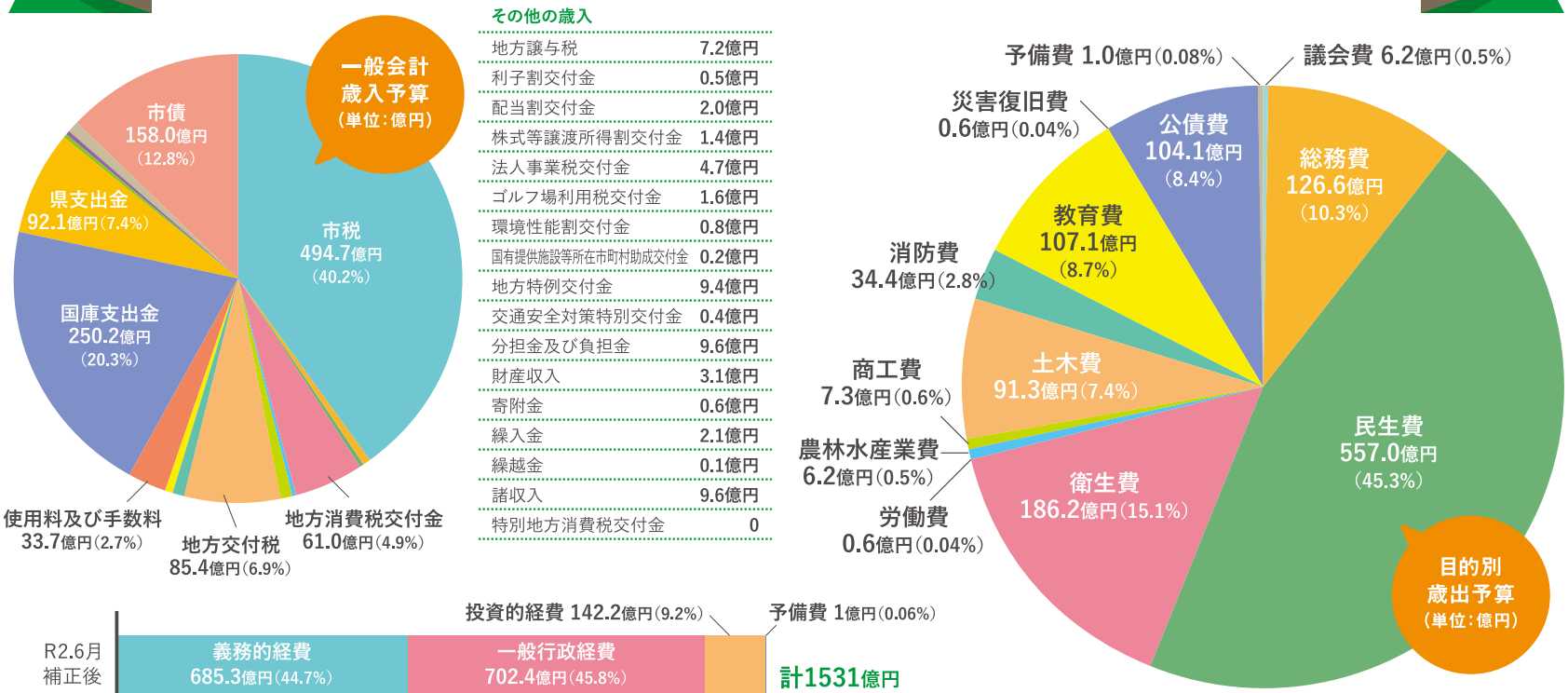


幹事長からのごあいさつ

春光うらかな季節を迎え、ますます清
祥のことお喜び申し上げます。
平素は、新和会にご理解、ご支援を賜り深
く感謝申し上げます。
また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大
防止に多大なご協力をいただき、心からお礼を
申し上げます。
本市においても、医療従事者より、ワクチン
接種が開始され、一日も早いコロナ禍の終息を
期待するところであります。
新和会といたしましては、新型コロナウイルス
感染症から市民の皆様への命と暮らしを守り、
事業者の皆様への事業継続を支えるため様々
な取り組みを進めてまいります。
また、令和3年度は、コロナ禍の終息が未だ
見通せず、社会経済活動の停滞が回避でき
ない状況が続くという認識のもと、今年度から
始まる、大津市総合計画第2期実行計画
に掲げる各種施策の推進に向け、「夢があふ
れるまち大津」の実現に向け動き出したところ
であります。
今年度も、大津市の更なる発展と市民の
皆様が安心して暮らせる県都大津のまちづく
りを実現するため、市民に負託を受けたこと
を自覚し、精神誠意議員活動に邁進してい
きますので、変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い
申し上げます。

幹事長 伴孝昭

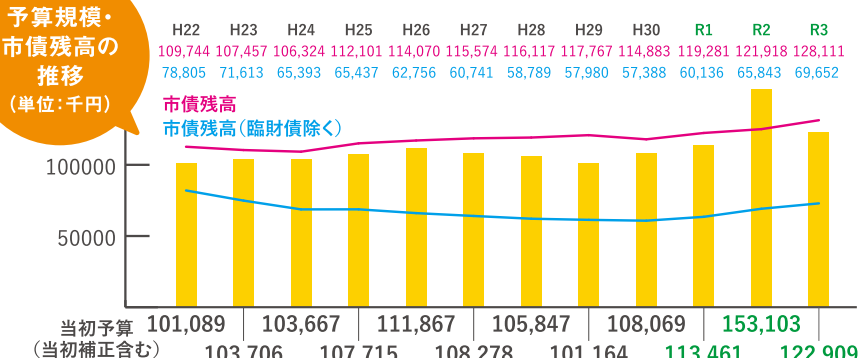
令和3年度当初予算が決まりました! (数字は小数点第二以下四捨五入)



それぞれの主な項目はこちら

コロナによる今後の税収の落ち込みに備え、
各種基金(積立貯金)の積み増しを行っています。

- 財政調整基金(全般的な対応の基金) 残高約62億円(+約12.3億円)
- 庁舎整備基金 残高約15.9億円(+約3億円)
- 土地開発基金 残高約7.3億円(+約5.5億円)
- 湖都大津まちづくり基金 残高約1.35億円(+約8,500万円)
- 減債基金 残高約9.7億円(+約4億円)
- 公共施設等整備基金 残高約21.4億円(+約10億円)



令和3年度 当初予算

令和3年度の当初予算は、新型コロナ対策をはじめ、令和3年度を計画初年度とする「大津市総合計画第2期実行計画」の6つのリーディングプロジェクトを柱とし、新和会の要望を踏まえた、佐藤市長の思いが色濃く表れた予算編成となっています。

●…新規事業 ①…充実事業 ★…新和会重点要望項目 ②…継続事業

教育費として、純粋な当初予算としては20年以上振りとなる100億円を超える予算を計上。老朽化した学校施設の建て替えや大規模改修に加え、トイレの改修費用も大幅に増加され、環境整備に特に力を入れています。

将来の夢を広げ次代を生き抜く力を育む

- ICT教育の推進
- 特色ある学校づくりの推進
- 市長公約である夢づくり予算の実現
- 小中学校トイレ改修…約2.7億円★
- 小中学校施設の長寿命化…約1.1億円★

生涯にわたる学びの推進

- 図書館図書整備…約4,400万円★

学びの環境づくり

子育て支援

安心して子育てできる支援の充実

- 産後ケア/妊婦検診等…約2億円

豊かな心と健やかな体を育む環境づくり★

- 民間保育園の環境整備…約17億円
- 民間児童クラブ運営補助…約2億円

社会全体で子どもの育ちを支え、支援する体制づくり

- 子どもの居場所づくり、親子の交流広場等…約3,700万円

協働のまちづくりの推進

- ストップ! 特殊詐欺
- まちづくり協議会設立運営支援★

防災対策の充実

- 中消防署移転整備…約4.3億円
- 市役所本庁舎整備の検討経費★
- コンクリートブロック塀撤去等補助
- ハザードマップの作成、市内全戸配布

生活を支える地域交通の確保

- 交通不便地域でのデマンド型乗り合いタクシーの実証運行
- 道路のバリアフリーの推進

暮らし安心



第2期実行計画 リーディング プロジェクト 〜夢があふれるまち大津〜

地域で支える超高齢社会の形成

- 認知症高齢者等個別賠償責任保険の公費補助
- 介護サービスの充実と医療提供体制の整備★
- 大津市民病院への運営費負担金…約15.7億円
- 特別養護老人ホーム等整備…約3.4億円★
- 訪問診療・訪問介護体制整備★

健康長寿の延伸

- 各種がん検診の推進…約2.9億円

健康長寿

感染症拡大防止と医療提供体制の確保★

- ワクチン接種に係る経費…約2.8億円
- 市立大津市民病院における感染症利用の充実・強化…約2億円
- 新型コロナウイルス受診・相談センター事業委託…約2,000万円
- 新型コロナウイルスにかかる検体検査民間委託…344万円
- 高齢者PCR等検査費用助成…600万円
- 不安を抱える妊婦に対するPCR等検査の費用助成…85万円
- 小中学校トイレ清掃・消毒業務委託…約5,000万円
- スクールサポートスタッフ配置支援(54校)…約2,000万円

新たな日常への対応

- 持ち運べる大津市役所の実現…211万円
- 小中学校ICT環境整備…約3.7億円
- テイクアウト・デリバリー等入促支援…300万円
- 教育旅行支援…50万円

魅力発信 とにぎわい づくり

大津湖岸なぎさ公園周辺等のにぎわい創出

- なぎさ公園魅力向上プロジェクト
- NHKのご自慢大会誘致

人が集まる仕組みの構築

- 最澄1200年大遠忌を契機とした観光振興
- MICEの推進
- eスポーツフェスティバルの開催

人・物が行き交う道路網の整備

- 膳所駅南側周辺整備の調査
- 地域幹線道路、都市計画道路の整備…約15.8億円★

YouTubeチャンネルを
開設しました!



こちらから
ご覧ください



ホームページやお電話にて新和会にお寄せ頂いたご意見等については、担当部局へお伝えをし、適宜対応を頂いております。
直近の対応:「ゴミ集積所からの持ち去り事案」「畜場への花の持ち込みルールの変更」「道路整備に伴う各種対応」等

Innovational faction
新和会
大津市議会 OTSU SHINWA-KAI

FAX 077-521-1010
TEL.077-528-2624

※会派議員控室の為、応答できない場合がございます。ご了承下さい。

私たち新和会に
皆さまのお声をお寄せください



代表質問項目別の市長答弁

令和3年度の市政運営に関する方針・取り組みについて



伴孝昭幹事長

①市長就任から2年目の市政運営について

感染症対策、ワクチン接種の円滑な実施に注力するとともに、総合計画第2期実行計画の着実な推進に向け取り組んでいく。

②令和3年度の予算編成について

『夢があふれるまち大津』の実現に向け、持続可能な安定的な財政運営を堅持していくため、事業の必要性や有効性の精査を尽くすとともに、国県補助金等の財源を最大限に活用し、予算編成を行ってきた。

③情報発信に対する姿勢について

市政の推進に当たって情報発信は極めて重要であることから、今後も丁寧な情報発信に努めていく。

④-1 職員のモチベーションの向上について

今後、職員がやりがいを実感できる職場となるよう努めていく。

④-2 接遇力の向上について

行政のデジタル化を推進する中であっても、職員の接遇は行政サービスの根幹であり、市民の満足度を高めるため接遇力の向上に努めていく。

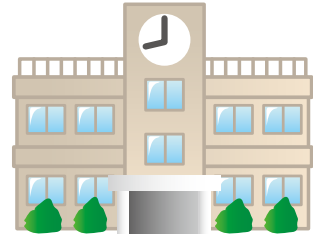
⑤女性職員の管理職登用について

前年度実施した人事・給与制度に関する職員意識調査の結果を参考に、女性管理職の割合の向上に向けた更なる方策を検討していく。



安心・安全な教育環境の整備について

GIGAスクール構想の推進については、「大津市学校教育の情報化推進計画」を基にしながら、整備したICT環境を効果的に授業で活用し、児童生徒の学びの充実につなげていく。



学校夢づくりプロジェクトについて

子供たちが地域に誇りを持ち、夢や将来の目標を持って学べるようにすることが大切である。学校の裁量で予算執行できる本プロジェクトの創設により、魅力的な学校づくりにつなげていく。



歴史的風致維持向上計画の進め方について

本計画は、地域の歴史や伝統を踏まえて、地域住民が主体となった生活の中の営みや行事に着目したまちづくりを推進することが目的となっている。計画策定後は、様々な機会を通して計画の趣旨を市民の皆様にお知らせするとともに、具体的な取り組みを通じて地域の機運を高めていく。

地域の交通政策について

新たな交通手段の導入促進について、路線バスの廃止や減便等に対応するため、運行ダイヤを定めず、予約に応じて地域内に設定した停留所間のみを運行する新たなデマンド型乗合タクシーを配車する社会実験を実施する予定であり、ダイヤに基づき運行している既存のデマンド型乗合タクシーとの比較検証をしながら、取り組みの評価を行っていく。



水道事業の広域化等について

今後も、県や近隣の水道事業体との連携体制を構築し、業務の共同化等できるところから、広域化施策を推進していく。

地方独立行政法人市立大津市民病院に対する支援について

設置者である本市として、市民病院の自立した経営に向けて環境の整備に努め、法人に対して第2期中期計画の達成を促していく。

庁舎整備について

市民意見の聴取については、今年度、「庁舎整備基本構想」の策定に着手してまいりますが、取り組みの情報発信に努めるとともに、この中で庁舎整備にあたって市民の皆様のご意見を反映させる具体的な手法についても検討していく。

ウィズコロナ、アフターコロナ時代の観光戦略について

今年度を主な対象期間とした「新型コロナウイルス感染症を踏まえた大津市観光戦略」の策定を進めていく。この戦略を基に、ウィズコロナ期における旅行者のニーズの変化を捉えた施策を軸として、短期的な方針で取り組んでいく。

市民センターの今後の役割について

今後、行政の手続きのオンライン化の推進等により、窓口に足を運ぶことなく、受けられる行政サービスを拡充させる一方、高齢者に対する様々な相談業務への対応など、暮らしに寄り添った地域の行政拠点としての役割を担っていく必要があると考えている。



質疑・一般質問

令和3年2月通常会議

※質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。

井内 律子



Q 新型コロナウイルスワクチン接種について

市は、市民が安心して接種を受けられるように取り組まなければならない。市の体制や、接種券の送付、会場の予定、また、会場での感染予防等に向けた取り組みについて伺う。

A 2月1日に新型コロナウイルスワクチン接種対策室を、また3月1日にはコールセンターを設置して準備・対応を進めている。市民の皆様には2回分の接種券を、予約票、国、市からの説明文書を同封して送付する予定であり、接種会場については未定であるが、今後、市ホームページや広報、支所での掲示板等で案内していく。また、実施にあたっては、リハーサルを行い、医療安全や感染予防に十分配慮していく。

細川 俊行



Q 公共施設における県内産木材の活用について

長寿命化改修の際に、特色があり、魅力ある学校施設となるよう、内装に県内産木材を活用することについて見解を伺う。

A 公共建築物等における木材利用の促進に関する法律が制定され、学校施設については、積極的な木材利用が期待されている。県においても、県内産木材利用を促進する為補助金を交付しており、活用について引き続き検討してまいり。

笠谷 洋佑



Q 大津市路上喫煙等の防止に関する条例の改正について

改正健康増進法の全面施行等の影響により、喫煙者を取り巻く環境が大きく変化し、路上喫煙や吸い殻のポイ捨て等の課題が市内でも散見される。対策と共に、施行後10年以上が経過する「大津市路上喫煙等の防止に関する条例」における禁止区域についても見直す必要があると考えるが、本市の見解を伺う。

A 現在、人が多く行き交い、集まる場所である乗降客数の多い駅前や観光客数の多い観光地周辺を禁止区域として指定しているが、条例制定から約12年が経過していることから、見直しに向け検討してまいり。

鳥井 義徳



Q ヨシ保全活動について

ヨシ群落周辺の地域住民が中心となって取り組んでいるヨシ保全活動は、琵琶湖の保全を推進するとともに、地域の活力を生む大切な活動であると考えているが、活動に対する市の評価と今後の支援の方針について伺う。

A ヨシの保全にあたっては、県のヨシ群落保全基本計画で述べられている通り、住民との協働が不可欠であり、地域のヨシ保全活動は琵琶湖の保全において重要な意義を有していると評価している。今後も地域のヨシ保全活動が継続的に実施できるよう、琵琶湖のヨシ群落の保全に関する条例に基づき、県と連携して、必要な支援を行っていく。

津田 新三



Q 市西北部の幹線道路整備、湖西台の利活用について

市西北部の幹線道路整備の進捗状況、また湖西台については、総合計画第2期実行計画の中で、土地利用に向けた調査の項目があるが、どのような社会状況なら、実施できるのか伺う。

A 国道161号湖西道路の4車線化については既に設置工事を進められているところであり、国に対し令和5年度末までの供用開始を要望している。国道477号は、令和5年度末までにJR湖西線から真野インターチェンジまでの拡幅整備を終え、令和10年度までには残る区間の完成が予想される。湖西台については現下の社会経済情勢を踏まえて考えると、厳しい状況であり、時期については適切な時期を見極め実施する。

桐田 真人



Q 本市東部地域への私立学校の小中一貫校の誘致について

社会情勢や人口推移の傾向、義務教育を受ける児童生徒の教育活動に対するニーズなどを見極めながら、公教育の一翼を担い、個性豊かで特色ある先駆的な教育活動を実践されている私立学校を総合的な教育行政の中に位置づけ、教育基盤の拡充と連携を図ることが、本市児童生徒の高度化していく進路選択に有効であると考えられる。見解を伺う。

A 地理的特性により、公立小・中学校あわせて55校配置しており、引き続き、教育の機会の保障、教育環境の維持・向上および特色ある学校づくりを進めてまいり。

西村 和典



Q バスの廃便減便に伴う新たな移動手段は住民に配慮を

バス路線の廃便減便に伴う代替手段として令和3年4月から新たな方式でのデマンド型タクシーの社会実験が実施されるが、その従来の方式と異なる点やメリット、住民への周知や台数が不足した場合の対応について伺う。

A 従来のデマンド型タクシーはダイヤに基づく運行であるのに対し、新たな方式では利用者の予約に応じて設定した停留所間を運行するもので事前登録せずに利用できる手軽さや当日の予約で利用できる高い利便性、利用しやすい運賃設定となっており、高齢者の方も含めて丁寧な説明とその周知に努めていく。また、状況に応じて台数を増やすことも含め、地域の皆様や事業者と検討を行う。

河村 浩史



Q 自主財源を確保するための組織体制の構築について

これからの本市の財源について、職員自らが、危機感を持って取り組んで行くためにも、行政の組織内において、自主財源の確保を推進する組織体制の構築が必要ではないかと。

A 自主財源の確保を推進するための行政組織体制の構築について、今後、財政運営を取り巻く環境はますます厳しさを増すものと予想されることから、自主財源の確保充実が重要であり、現在策定中の次期行政改革プランにおいて「自主財源の確保」を取り組み項目として掲げていきたいと考えている。また、全ての部局において自主財源の確保を意識した取り組みを強化していく。

神田 健次



Q 未利用財産の利活用推進について

今後、厳しい財政状況が続くことから、歳入確保のために未利用財産の利活用を推進すべきと考える。市の取り組みを伺うとともに、全庁的な視点で取り組むためのトップダウン型の仕組みの構築について伺う。

A 毎年実施している全庁的に未利用財産の調査結果を基に「公共性」と「市場性」の2つの評価軸による資産活用の方向性の整理等を行い、個別具体的な活用の方向性を検討する。また、トップダウン型の仕組みの構築にあたっては、副市長をトップとする「大津市未利用地等利活用検討委員会」において、関係部局との連携による利活用に係るスキームの構築について検討する。

Innovational faction

新和会

大津市議会 OTSU SHINWA-KAI